

(株) デジタ

恵那市・製造業

従業員数 / 男性54名 女性146名 計200名 ※令和6年11月現在

エクセレント
POINT

- ①「男性育休の手引き」を作成し、取得しやすい風土を醸成
- ②恵那市内で初となる企業主導型保育園を創設
- ③社員同士のコミュニケーションも促す充実した福利厚生



男性が育休取得を考える際に気になる要素をまとめた手引き。実績も踏まえた丁寧な説明を行って取得促進をサポートする。

印刷通販のデジタは「睡眠8時間・仕事8時間・趣味や家庭での8時間」を社員に推奨。20、30代の社員が多く、子育て世代への丁寧なサポートを心がけている。男性育休の取得促進に向けては、対象者の意見を取り入れながら「男性育休の手引き」を作成。取得までの流れや育休中の給与、評価への影響など、不安要素になりやすい

子育て世代が安心して働ける会社に

部分を中心にまとめた。この手引きを周知後に取得した2人は現場リーダーや課長補佐として活躍しており、部下も取得を希望しやすい風土づくりにつながった。社員が閲覧する会社独自のポータルサイトには、取得者の体験談や感想を掲載している。

敷地内にある「森のこども園」は恵那市初の企業主導型保育園で、2018年3月に創設した。社員の子どもは優先的に入園が可能で、就労時間内に参観できるイベントを定期的に開いている。園創設前の過去3年間に子どもが生まれた社員は男女合わせて4人だったが、20年から22年の3年間では合計15人に。子どもを同園に預ける通販事業課の男性社員は育休を経て、妻とともに同社で働く。「就業中にごっそり園の様子が見られる」かくれ参観日」は、普段と違う子ども



始業時間に間に合うように開園する保育園。社員の平均年齢が30代前半のデジタでは子育て世代が安心して働ける環境を整えている。

の様子が見られてうれしい。園のおかげで安心して働くことができている」と笑顔で話す。

誕生日や婚姻、成人の祝金支給や、地域の福利厚生機関への加入によるレジャー施設などの割引サービスも充実。また専用のICチップを2人同時にかざすとドリンクがもらえる「社長のおごり自販機」は、普段話す機会のない別部署の社員との交友関係を深めるきっかけとなっている。